

再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム)
研究開発課題評価(令和5年度実施)
事後評価結果報告書

研究開発課題名	パーキンソン病細胞移植治療でのヒト多能性幹細胞からのドパミン神経分化誘導時における非侵襲モニタリングシステムの構築
代表機関名	神戸医療センター中央市民病院
研究開発代表者名	森實 飛鳥

1. 総合評価

優れている

【評価コメント】

バイオマーカー20種を同定した点は評価できる。日英連携を含め研究開発代表者を中心とした研究開発体制が適切に組織されていたと評価できる。同定した陽性および陰性バイオマーカーに関して今後さらに検討を進めることで、世界的に取り組みが始まったパーキンソン病の再生医療において細胞製造工程の品質管理に利用できるようになる展開などが期待できる。

一方、主たる研究成果に関する論文がまだ投稿中である。創薬応用に向けては、特許を出願していない点は残念である。今後はより実用性を見据えた開発を進め、知財の確保については早急に検討すべきである。